

DICプラスチック株式会社

<http://www.dic-plas.co.jp/>

〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階
TEL:048-658-8855 FAX:048-643-8891

DICプラスチック株式会社 会社案内 Corporate Profile

プラスチックの未来を紡ぐ





企業理念

私たち
は
プラスチック成形加工を基礎技術として
お客様の立場にたって
新たな価値の創出に努めます

「プラスチック」という素材が誕生してから100年以上^{*}がたちます。プラスチックは「塑性」という形を変化させやすい性質をいかし、先達の創意工夫によってさまざまな分野に活用されて、人々の暮らしや産業を豊かにしてきました。しかし一方では、廃棄のしかたによって環境を破壊してしまう存在にもなり、その在り方が問われているのも事実です。

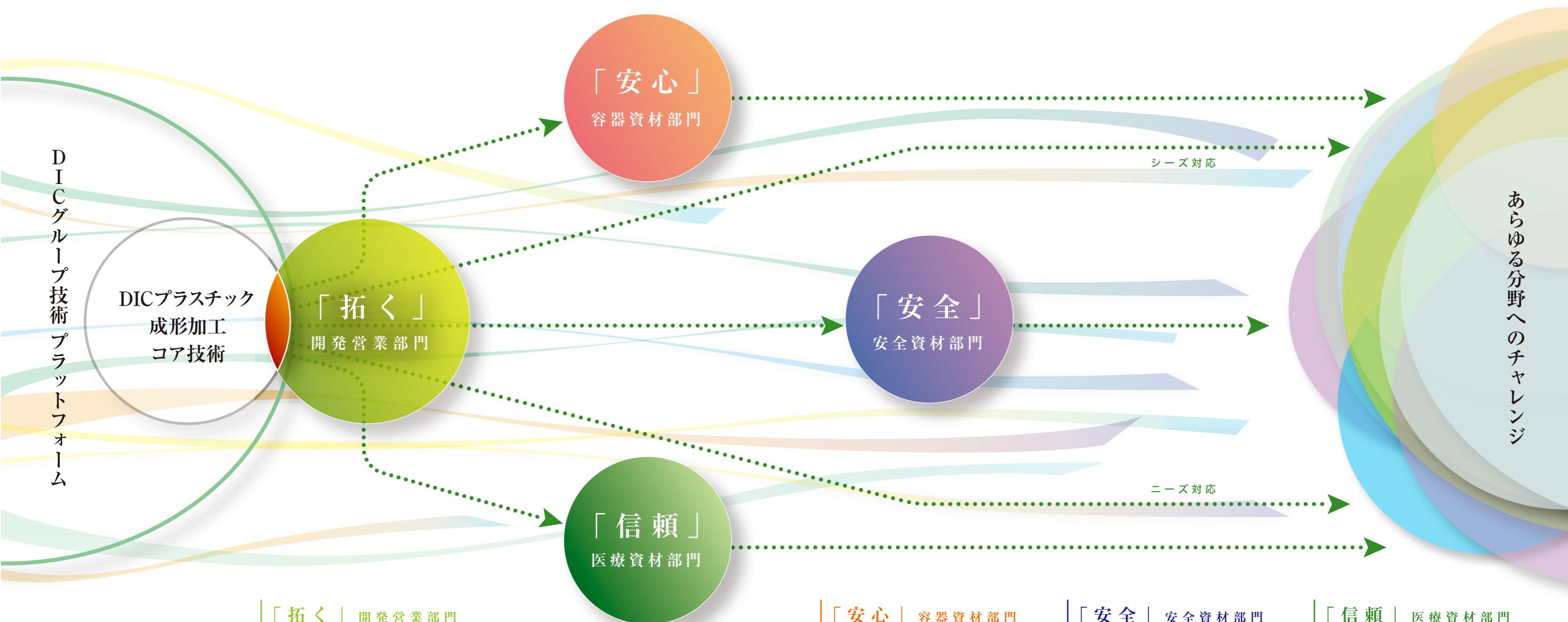
私たちDICプラスチック株式会社は、プラスチックを素材として、これまで約半世紀にわたり培った成形加工技術を基盤に、みなさまの暮らしや産業に役立つモノづくりに専心してまいりました。私たちの強みはDICグループのネットワークを駆使して、時々刻々と変化する社会的要請に応える技術、お客様の声を反映した製品を、迅速に高品質でお届けすることです。単にニーズにお応えするだけの製品を提供するのではなく、その製品がお客様にとっ

て新たな価値創出となるよう努めることが使命です。環境問題についても、循環型社会を想定した素材研究・技術開発への取り組みを進めています。私たちは、まさにプラスチックの特性のように柔軟に自らを変化させて、みなさまの暮らしになくてはならない存在になるよう、これからも常にチャレンジ精神で邁進いたします。

プラスチックはいつまでも、みなさまのすぐそばにあるものとして存在し続けることでしょう。その社会的存在意義を確かなものにするために、みなさまとともに考え、一つひとつ着実に応え、未来へと「紡いで」いこうと考えています。

* 世界初の合成樹脂とされるフェノール樹脂誕生の1907年を起源としています。

私たちにできることは、何か



「拓く」開発営業部門

私たちは、総合化学メーカーDICグループの持つ技術力や素材の持つポテンシャルを融合した、あらゆる工法を駆使して、さまざまな分野のお客さまニーズにお応えいたします。お客さまのご要望を取り入れながら、素材開発から生産、品質保証までトータルシステムとしてご提案し、お客さまにとってより価値の高い製品を開発し、生み出していくます。「無理難題を形に」をテーマに、形の定まらない大きな夢に最善の形をご提供し、プラスチックの未来を「拓く」ことが私たちの使命です。



「安心」容器資材部門

流通において中身商品を安全に確実にサポートする食品容器、物流に求められる密封性、耐薬品性、開封履歴表示、折りたたみ式など機能性を高めた運搬容器は、永年にわたる私たちの得意分野です。そのほか作業効率を高める農園芸用品も取り扱っています。私たちは「一人ひとりに使いやすく機能美にあふれるデザイン」を目指し、徹底したユーザー調査と加工研究を重ね、これからもみなさまの「安心」を運ぶ製品を提供し続けてまいります。



「安全」安全資材部門

私たちは、およそ50年以上にわたり、広く産業界に「DICヘルメット」を提供し続けてまいりました。工業用樹脂や有機顔料を生産するDICグループの総合力をいかした素材研究と製品開発、さらに国家検定や認定基準に基づく品質維持を誇ります。また使用済みヘルメットの分別処理・再資源化にも積極的に取り組んでいます。私たちは「安全」をキーワードにヘルメットのみならずフェンスをはじめとする各種仮設資材も取り揃え、常に安全で快適な製品を提供し続けてまいります。

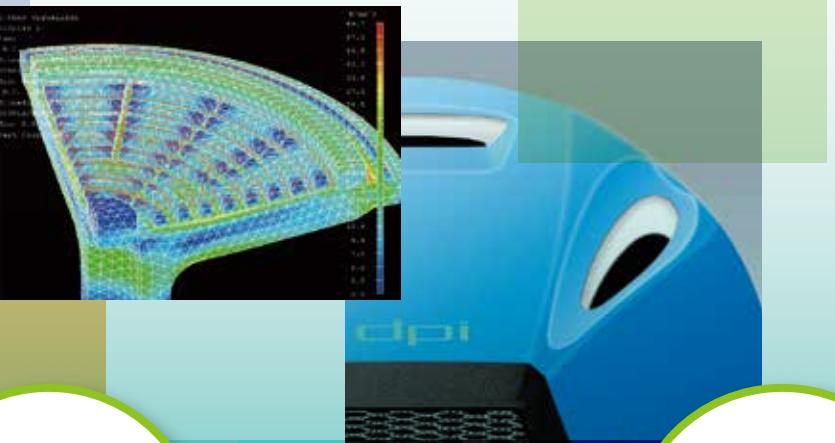


「信頼」医療資材部門

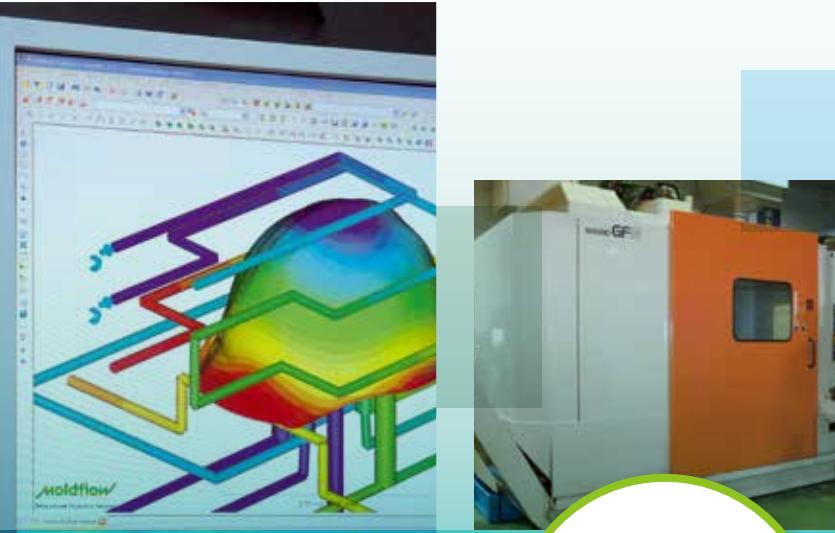
医療機器分野の品質マネジメントシステムISO13485に基づき、各種医療用診断容器、高精密な溶着技術による理化分析用シリシジフィルターなどは、塵埃や浮遊菌を排除したクリーンルームにおいて、成形から加工、組立までを厳しい品質管理のもとに一貫して行い、臨床検査分野での「信頼」を獲得しています。さらにテクノサイエンス株式会社をはじめとするDICグループとの技術連携により、常に安全に安心してお使いいただける高品位の医療用器具の開発や製品を提供できる体制を整えています。



「はじまり」から、「おわり」まで



企画
デザイン



設計
解析



成形
組立加工



品質保証
環境安全

あらゆる角度からデザイン検証

私たちのモノづくりに対する思いは「いかにお客さまに喜んでもららるるか」の一言に尽きます。まずはお客様がどんなことでお困りになっているのかを、現場調査を行いながら確に把握します。そして製品の特性を踏まえて素材を選択し、成形性、加工性、デザイン性などを考慮した上で、アイデアスケッチや3次元CGで、わかりやすくビジュアル化いたします。

さらに3Dプリンターを活用したラピッドプロトタイピングによるモックアップ^{※1}を迅速に製作し、使い勝手の確認、不具合の抽出など、あらゆる角度でデザイン検証を行います。

お客様が納得するまでコミュニケーションを深め、より実現可能な形に昇華させていきます。

※ モックアップ:原寸大の模型

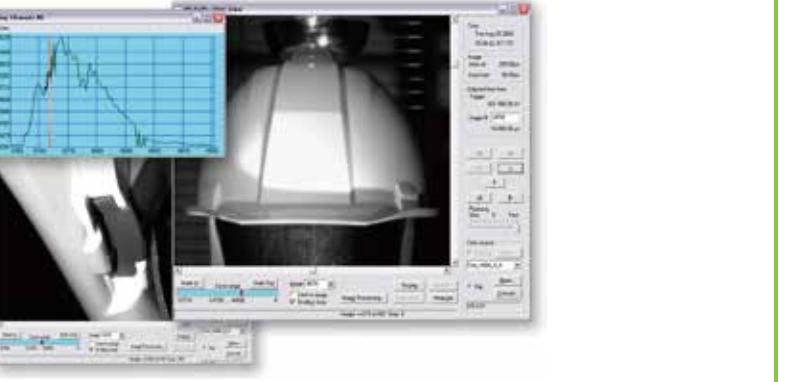


性能とコストを徹底追求

設計部門では充分に検証されたデザインをもとに、3次元CAD^{※2}を駆使し、要求品質を満足させ、かつ低コストにつながる製品設計を行います。さらにCAE^{※3}シミュレーションによる強度や衝撃などの構造解析、充填や反りなどを樹脂流动解析し、製品形状を最適化します。また、ハイスピードカメラを活用した衝撃吸収メカニズムの解析・研究を通じ、信頼性の高い設計を目指しています。そのほか、DICグループの各R&D部門との連携により原材料活用から加工技術を共有化し、熱可塑性樹脂から熱硬化性樹脂までプラスチック全般の成形加工ニーズにお応えいたします。

埼玉工場では、産業用自転車用等ヘルメットの熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂(FRP^{※4})の各帽体や、内装部品他の関連部材を成型するだけでなく、製品用途に応じて加飾等の加工から完成品組立までの一貫した生産体制を30年以上継続し、お客様の幅広いニーズに対応しています。

※1 CAD:Computer Aided Design コンピュータ支援設計
※2 CAE:Computer Aided Engineering コンピュータ支援エンジニアリング



成形→加工→組立まで、一貫した生産体制

主な生産拠点である館林工場では、プラドラムなどの大型製品から、ミクロランオーダーの超精密製品まで、さまざまな製品仕様に対応できるよう幅広く成形機を取り揃えています。食品容器や医療資材など衛生性を要求される製品は、厳しい環境条件を課したクリーンルーム内において、成形、加工、組立までの一貫生産を行い、常に衛生的な品質を保持しています。

埼玉工場では、産業用自転車用等ヘルメットの熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂(FRP^{※4})の各帽体や、内装部品他の関連部材を成型するだけでなく、製品用途に応じて加飾等の加工から完成品組立までの一貫した生産体制を30年以上継続し、お客様の幅広いニーズに対応しています。

生産技術部門では、金型仕様の決定や試作品の評価、初期運動の管理など量産に向けて準備を行います。量産時は安定した品質や機能を維持するため、大型圧縮試験機をはじめ、引張圧縮試験機やクリーンベンチなどさまざまな試験評価機器や設備を駆使し、お客様にご納得いただける製品をご提供するため、不断の研究と改善に努めています。

※ FRP:Fiber Reinforced Plastic 繊維強化プラスチック



主な設備

射出成形機
計19台(型総合力 40~1300t)

その他
滅菌器(オートクレーブ、EOG)、各種恒温機、純水装置

主な評価機器および評価設備

評価機器	名称	概要
紫外線可視分光光度計	衝撃吸収性試験装置	30~50°C加温無し 年間40°C運転
位相差顕微鏡	耐貫通性試験装置	-30~80°C加温無し
インキシベーター	保持装置試験装置	年間40°C運転
コロニーカウンター	耐電圧試験装置	
接触角計	引張圧縮試験機	
メルトイндекс	大型圧縮試験機	
ハイスピードカメラ	オートグラフ	
3Dプリンタ	落下試験機	

評価設備	名称	概要
高温クリープ室	衝撃吸収性試験装置	30~50°C加温無し 年間40°C運転
低温クリープ室	耐貫通性試験装置	-30~80°C加温無し
コロニーカウンター	保持装置試験装置	年間40°C運転
接触角計	耐電圧試験装置	
メルトイндекс	引張圧縮試験機	
ハイスピードカメラ	大型圧縮試験機	
3Dプリンタ	オートグラフ	

安全で安心、安定した品質を確実に

さまざまな要求品質をもとに開発・製造された製品は、最終的に品質が保証されなければならないません。そのため製品に対応した各種規格への適合はもちろんのこと、独自の社内品質評価基準を設けることにより、常に安全で安心、安定した品質を確実に提供できるよう努めています。私たちが定めるDICグループ品質方針「常に信頼される製品を提供して顧客と社会の繁栄に貢献する」を目指し、品質マネジメントシステムISO9001や医療機器分野のISO13485を取得し、常に顧客満足の向上に取り組んでいます。

また、「環境安全品質方針」を毎年度制定し、その実現に向けて環境マネジメントシステムISO14001を活用し、環境への負荷低減や持続的な改善活動を行っています。



品質マネジメントシステム ISO9001:2008
2014年取得
医療機器品質マネジメントシステム ISO13485:2003
2005年取得
環境マネジメントシステム ISO14001:2004
2004年取得
(DIC)(株)館林工場 JCQA-E-0394共同認証
体外診断用医薬品製造業認定工場 (QMS)省令適合施設
2012年7月取得

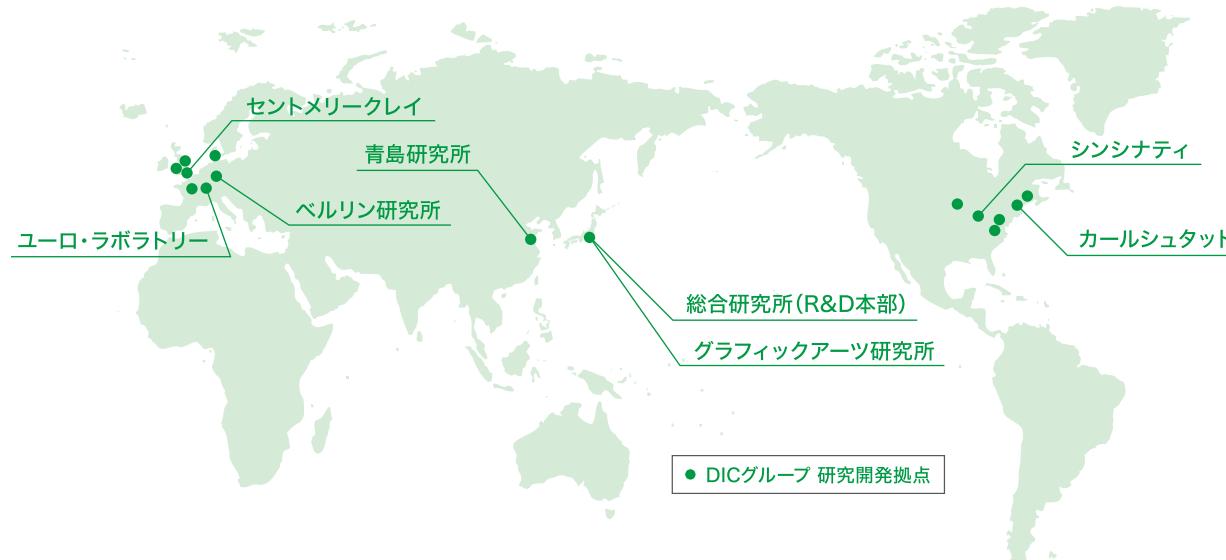
ヘルメット関連規格
産業用ヘルメット
(厚生労働省告示第120号「保護帽の規格」及び
第33号「絶縁用保護具等の規格」)
自動車用ヘルメット
(自動車用ヘルメットの認定SG基準 CPSA0056)
乗用車用ヘルメット
(乗用車用ヘルメットの認定SG基準 CPSA0044)



DICグループの一員として

DIC株式会社^{*}を中心とした世界に広がるDICグループのグローバルネットワークは、総合研究所をはじめ各事業部門やグループ企業が保有するR&D部門との横断的な協力体制により、さまざまな技術開発、分析、ソリューションに取り組むことができます。さらに先進的な生産技術や新機能材料を技術プラットフォームとして、新たな高付加価値製品への展開を可能とします。

※ 当社の出資元

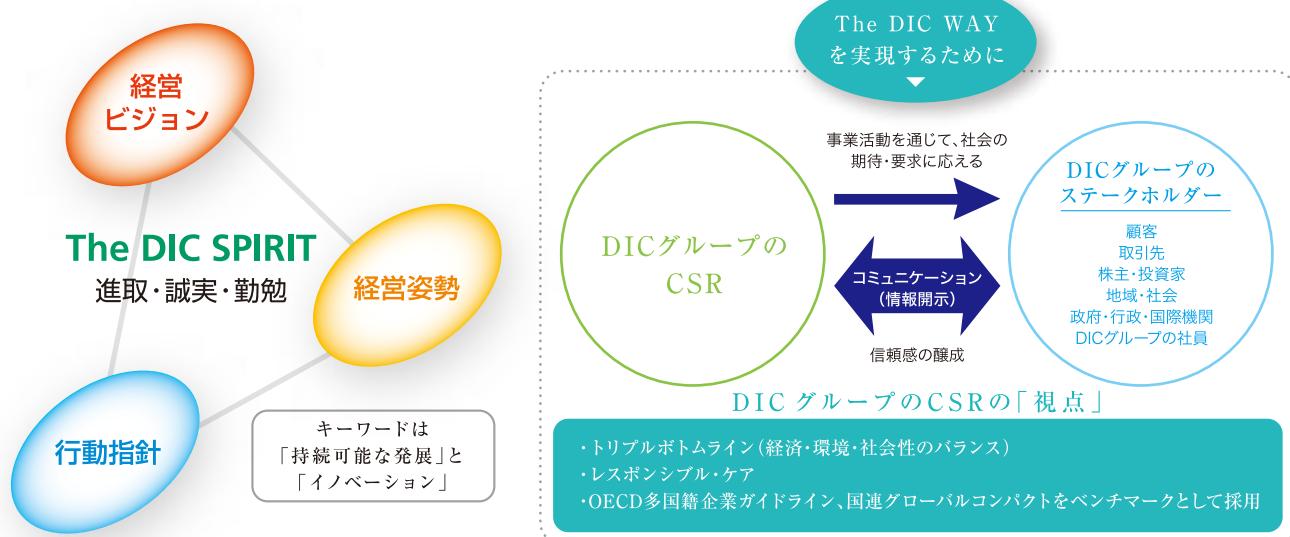


CSRにおける取り組み

当社はDICグループとして、DIC株式会社が定めた経営の3つの基本原則からなる「The DIC WAY」にベクトルを合わせ、社会的責任を強く意識した事業活動に取り組んでいきます。DICグループの「CSR^{*}」の基本は、「事業活動を通じて社会的な責任を果たし、社会の発展に寄与していくこと」です。つまり、会社の活動そのものを環境(エコ)と社会に十分配慮して行い、The DIC WAYのもとに環境と社会に貢献する事業活動を通じて「社会的な責任」を果たしていくことを、私たちはDICグループのCSRと位置づけています。

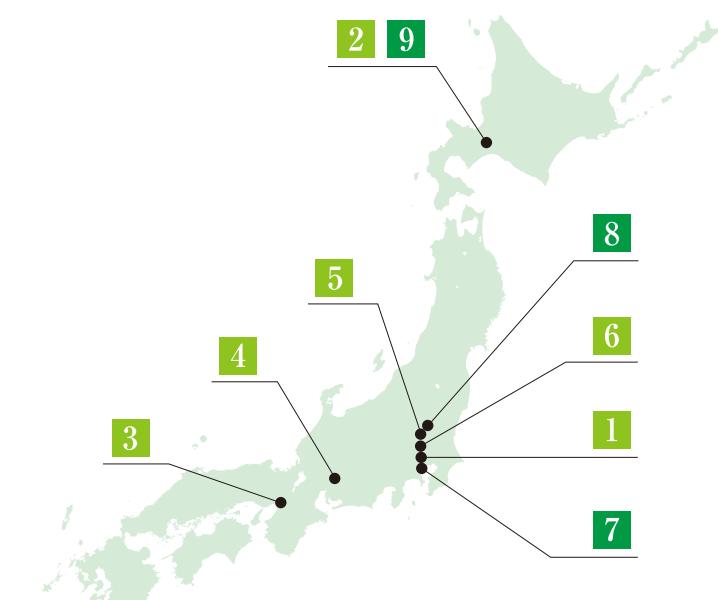
※ CSR:Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

The DIC WAY



主な営業所、および主要関係会社

本社・営業所、および工場



本社外観



埼玉工場

館林工場正門

DICグループ

7 DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
TEL:03-6733-3000
<http://www.dic-global.com>

8 テクノサイエンス株式会社

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3-12-12
TEL:028-657-0020 FAX:028-657-0021
[事業内容] プラスチック製精密フィルターなどの製造・販売

9 ワイディープラスチックス株式会社

〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15
TEL:011-373-2331 FAX:011-373-2771
[事業内容] ペットボトル容器の製造・販売